

【各団体で工夫していること、上手くいっている点】

- ・ 独居やお年寄りが多いため、個別に対応している。
- ・ 回収方法の変更(R6 年～):自宅前に出したものを回収していたが、持ち込み(2 カ所)を実施してみる。
- ・ 小中学校で行っている資源回収日と重複しないよう日程調整している。
- ・ 回収と他のイベントを同日に行い、負担を減らしている。
- ・ 参観会開催日にあわせて実施。
- ・ アルミ缶を園児に持ち込んでもらうことで、SDGs 教育の一環を狙っている。
保護者の意識を高め、活動活性化を図るために今まではお知らせ配布やバスへの掲示、アプリ配信などで回収日を周知していたが、今年度はさらに加えて回収場所を看板などでわかりやすく明示し、回収日 1 週間前からの持ち込みを可とする予定。PTA 総会などで、アルミ缶回収を継続している意義を伝え、今年度の回収率アップに繋がりたいと思っている。
- ・ 普段から回収したものを保管しておき、業者に一度に引き渡すことで参加する保護者の負担を軽減している。
- ・ 小学校と合同で行うよう依頼。
- ・ PTA 役員、回収業者との打合せを丁寧に行うことで回収に関わるトラブルを減らしている。
- ・ 資源物を常時持ち込めることで回収量が増えている。
- ・ 園に常設している回収庫に地域の方も自由に資源物を持ち込めるようにしている。資源回収についての手紙を地域回覧しているため、地域の方が協力的である。
- ・ 常時受入れのため保護者が各自都合に合わせ持参が可能。業者引渡しは職員が実施することで、保護者の負担軽減。
- ・ 年 4 回の収集期間を設け、保護者・生徒への周知を連絡網を利用して行っている。
- ・ 学校で常時回収できるようにコンテナを設置している。
- ・ 自治会館内にアルミ缶用回収袋と段ボール、新聞雑紙、その他雑紙の種別回収用ボックスを設置し、町民からの持込回収に工夫した。
- ・ 高齢で回収場所への持込が困難な方が多いため、回収日に玄関先に出してもらい、自治会役員が自動車で回収している。
- ・ 回覧板に回収業者の車の写真を載せ（資源物の持ち去りではないことを）周知させた。
- ・ 回収日に自治会内 6 町内の組長以上役員に協力を求め回収作業を実施。
- ・ 雑がみ回収の回覧による周知で資源物回収が増加した。
- ・ 協力金をごみ集積所の修繕費や会議出席者への記念品配布に使用し、住民に還元している。

- ・自治会役員立ち合いで分別の指導・確認を行っているが、夜間・早朝に不十分な分別のまま出される事例があり、役員が整理する手間が生じている。不都合事例を地域の広報誌（月報）で写真を添付して回覧している。
- ・古着の回収を始めてから近隣の町内からの持込が増え、紙類やアルミ缶なども持ち込まれて助かっている。
- ・ごみステーションに屋根を設置し、雨降り時に段ボールが濡れないようにした。
- ・年間回収計画表を作成し、各班を通じて自治会員に連絡。班長には分別訓練の実施。
- ・回収日の周知について、今年度から回覧板を廃止し回覧アプリにて情報配信し、直前での情報配信を実施する取り組みを開始。
- ・マンション独自で資源回収を定期的に行っており、回収品も各階段下の物置に随時持ち込み保管できるため、各部屋で保管する必要がなく助かっている。
実施日には、住民で保管場所の物置から回収品を運び出し、回収業者のトラックに積むまで協力して行い、毎回 20 分程度で終了できている。
- ・在園児の保護者のみでなく、卒園児家庭にも呼びかけ、常時持ってきてもらっている。
- ・回収物の重さによって、搬入用の段ボール箱やトレットペーパーに交換してお得感を持たせ、次の搬入につなげている。